

## 山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申し出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	肥満喘息患者における GLP-1 作動薬治療が喘息コントロールに与える影響：観察研究			
② 実施予定期間	実施許可日から 2027 年 3 月 31 日			
③ 対象患者	対象期間中に当院呼吸器・感染症内科、または第一内科（肥満外来）に受診し、肥満外来における減量プログラム（栄養指導）を受けている喘息を合併している患者さん			
④ 対象期間	2022 年 4 月 1 日 から 2025 年 12 月 31 日（追跡期間：2026 年 6 月 30 日）			
⑤ 研究機関の名称	山口大学医学部附属病院			
⑥ 対象診療科	呼吸器・感染症内科、第一内科（肥満外来）			
⑦ 研究責任者	氏名	浅見 麻紀	所属	呼吸器・感染症内科
⑧ 使用する情報等	対象患者さんの全身状態、病歴、血液検査結果、呼吸管理検査、呼気ガス検査、症状の経過、薬物治療の内容、体組成などについてカルテに記載されている情報を用います。			
⑨ 研究の概要	肥満は喘息の重症化や治療抵抗性に関連する因子とされています。近年、肥満症の治療薬である GLP-1 受容体作動薬（GLP-1RA）を使うことで、体重を減らすだけでなく、喘息の症状が改善する可能性があることが報告されています。しかし、その詳しい仕組みはまだよく分かっていません。肥満合併の喘息患者さんにおいて、減量プログラム（栄養指導）の継続中に、GLP-1 受容体作動薬を用いた減量と用いなかった場合の減量方法を比較し、減量効果、喘息症状の改善（症状、呼吸機能、呼気一酸化窒素等の気道炎症のマーカー）に違いがあるか検討し、単なる減量効果にとどまらない喘息コントロール改善の機序を明らかにすることを目指しています。			
⑩ 実施許可	実施許可日	年 月 日		
⑪ 研究計画書等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。			

の閲覧等	詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。			
⑫ 結果の公表	学会や論文などで公表します。			
⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。			
⑭ 知的財産権	山口大学に帰属します。			
⑮ 研究の資金源	呼吸器内科の奨学寄付金を用いて実施します。			
⑯ 利益相反	ありません。			
⑰ 問い合わせ先・相談窓口	山口大学医学部附属病院 呼吸器・感染症内科 担当者：浅見麻紀			
	電話	0836-85-3123	FAX	0836-85-3124